

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小68) 長崎市立(神浦小)学校

1 教育目標

- 「学ぶことの喜びを実感できる子どもの育成」
①「手を離せ、目を離すな」～寄り添い過ぎない指導～
②力を本物にする教育～徹底・継続～

2 学校経営方針

- 【学校・家庭・地域と連携し、子どもが共に学び、高め合う活気ある教育活動を展開する】
○ 子どもが通いたい学校（挑戦する楽しさや達成感・満足感を味わうことができる学校）
○ 保護者が通わせたい学校（信頼される学校）
○ 地域が支援したい学校（地域に出かけ、地域を育む「開かれた学校」）

3 重点目標

- 「わかる授業」の創造に努め、基礎的・基本的な内容の定着を図り、自ら学び自ら考える力を育成する。
○ 道徳教育を中心に、生命尊重の心、協調性や思いやりの心を、人とのふれあいを通して育む。いじめや差別を許さない実践力を備えた子どもを育成する。
○ 地域の特色を生かした環境をつくり、地域を愛する心を培い、社会生活への実践を積極的に進める。
○ 教職員が生き生きと活動し、心のゆとりをもって児童や保護者と向き合えるよう、働き方改革を推進する。

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策	
			(肯定的割合・%)				
			児童生徒	保護者	教職員		
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	100	89	100	児童は授業を通して、「できた」「わかった」を実感できていると回答している。授業の様子を各種通信に加えたり、懇談会の話題にしたりして、改善を図る。少人数職員の校務過多は課題ではあるが、内容に軽重をつけるなどが考えられる。	
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	100	100	100		
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100		
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			86		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	100	100	100	生活指導面では、大きな問題がなく日々を過ごせた。随時の個人面談や毎月の心のチェック(アンケート)で児童の内面を把握し、さらに月1回の「児童理解」の会議で全体共有し、全職員での児童理解に努め、見守りを行った。 「あはは運動」は校内では、児童全員が素早く言えている。幼保小における長崎市の取組の一つなので、総会の時に周知していく。	
		挨拶をよくしている	100	100	100		
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	100	89	100		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	100	100	100		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	100	100	100		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	100	100		
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100		
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	100	100	学習に対しては、全児童が真剣に日々取り組んでいる。それが成果につながっている。数多くの行事も一つ一つを全力で取り組むことができた。 キャリア教育やふるさと教育の充実を図ったことで、児童は学んだことを自分事として受け入れることができた。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	100	100		
		家庭学習の習慣が身に付いている	100	100	100		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	100	100	100		
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	100				

健やかな体	保 健・衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	100	100	100	全般的な身体の健康面は病欠の少なさからも、高い意識を持って過ごしていることがわかる。基本的生活習慣については学校保健委員会で今後テーマに加えるなどして、家庭での実践につなげていく。「保健・衛生」、「食育」に関しては校内の指導と家庭との協働的な働きかけで今後も高水準を維持していきたい。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	100	89	100	
		体力向上に努めている	100	100	100	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	100	100	100	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	100	100	100	校内の定期点検と併せ不備・異常時の即対応で校内の事故等はゼロであった。地域・学校共催の「外海ふれあい広場」では児童の学習の成果を保護者や地域に堂々と発表することができ、地域の活性化に貢献した。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	100	100	100	
	PTA・地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	100	100	100	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教 育 環 境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	100	100	100	職員数は少数ながら、それぞれがよく動き、学ぶ環境が整っている。運動場の除草では、今後も外部団体の力を借りながら、整備に努める。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

- 本校児童は、素直に礼儀正しく、裏面目に物事を取つて行動している。裏面においては教師がつまらないことを
- 素直に受け入れ、真剣に課題に取り組む態度で力を身に付けている。生活面では規範意識が高く、ルールから外れた行動は見当たらない。学力と生活力をさらに確実にするためにという思いから、様々な活動や体験の場を設定し、全ての児童に着実に成長の姿が見られた。その充実感・満足感が全体的な高評価をもたらしているものと考える。
- 自分の意志や判断に基づいて行動する「主体性」を育むために、「自分で決めて行動する」という体験を重視した授業づくりや教育活動に取り組み、生きるための基礎力を自分で付けさせる教育活動を実践する。

6 学校関係者評価

- 地域の中での児童は、立ち止まり、目を見て、さわやかなあいさつをしてくれる。その行動一つで、充実している（よく育っている）ことを感じている。
- 参観日に授業の様子を見たが、2年生がタブレットを使った学習を行っていた。機器を上手に使いこなす中で、先生とともに、楽しそうに学習を進めていた。また、学習規律が身に付いていると感じられた。
- 神浦の子たちは、祖父母からも大事にされている家庭が多い。保護者も含め、認め励ます家庭教育が基盤となっているように思う。
- 今後も家庭、地域、学校での対話や交流を続けることを大切にし、コミュニケーション力が高まるることを期待し

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 学校教育も家庭教育も、まずは基礎・基本が大事である。その充実した姿が今の神浦小の児童から伝わることを
- 家庭や地域と共に認識することができた。基本的生活習慣やあいさつ・礼儀、学習の基礎・基本内容の習得は今後も日々のくり返し指導で身に付けさせる力の最優先としていきたい。
- ICTの導入による新しい教具のスキルアップでよりよい学びを求める、その中でも正しい学習規律で自分も他者もよりよい学びになるということを意識した実践を行っていきたい。
- 家庭のよさ、学校のよさ、地域のよさ・・・それぞれのよさが一つになり、子どもたちのさらなる成長につなが